

平成30年 4 月入学・進学

岡山大学

大学院ヘルスシステム統合科学研究科

(博士後期課程)

学生募集要項

**Graduate School of
Interdisciplinary Science and Engineering in Health Systems
(Doctor's Course)**

OKAYAMA UNIVERSITY

添付書類（出願書類等）

入学・進学願書・受験票

学位論文要旨

研究経過報告書・研究計画書・履歴書

研究従事内容証明書

博士論文研究基礎力審査に相当する審査に係る確認・報告書

受験票送付用封筒

連絡受信先届

入学検定料振込用紙

出願資格認定申請・調書

業績調書

岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科3つのポリシー

入学者受け入れの方針（アドミッションポリシー）

ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーを達成するために、本研究科博士後期課程では次のいずれかの資質を持つ者を求める。

- ・豊かな教養と高い倫理意識を持ってヘルスシステム統合科学の博士前期課程レベルでの専門的知識を修得した者で、医療現場を構成する人々としくみ（ヘルスシステム）の諸課題を学際的手法により解決することで、人類の幸福に貢献しようとする強い意欲がある者。
- ・出身学問分野は問わないが、それぞれの分野における修士の専門を修得しており、豊かな教養と高い倫理意識を持って医療現場を構成する人々としくみ（ヘルスシステム）の諸課題に関して分野を超えた学際的研究に強い意欲と十分な能力を持つ者。
- ・医療現場を構成する人々としくみ（ヘルスシステム）の課題解決に向けて、自ら選んだ研究分野における基礎研究や応用研究に止まらず、豊かな教養と高い倫理意識を持って社会での活用可能なアイデアを自ら創出することに強い興味と意欲を持つ者。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

人材育成の、4つの活動（①自然・社会（現場）に対して、②それを観察解析する学術を行う活動が対応し、③構成的な学術を行う活動として、その知見を応用してものづくりや新制度考案などアイデア創出を行い、④その成果であるアイデアを応用して行動する活動がまた①自然・社会（現場）を相手にしていく（社会での活用）、という4群の活動が循環するサイクル）に対する個々の専門の知識や能力をさらに高めるとともに、医療関連の現場を直視して自然科学及び人文社会科学双方の知性を兼ね備え、サイクルの中の複数の人材育成の活動を連携させる総合的な能力を高められるように、

- ・ヘルスシステム統合科学としての後期課程レベルの専門を扱う「統合科目」
- ・ヘルスシステム統合科学を構成する専門分野の知識や思考を後期課程レベルに深化させる「専門科目」

の二種類の科目からなる体系的・段階的なカリキュラムを編成する。

学位授与の方針（ディプロマポリシー）

現場の課題を整理して建設的な仮説を立てられ、その仮説を諸専門の手法を組み合わせながら適切な科学的方法で証明できる研究能力を有することが前提である。この前提により、社会の多様な場で自ら方針を示して課題解決に貢献する専門知識と研究能力を身に付けた中核的人材として、医療現場を構成する人々としくみ（ヘルスシステム）の課題を理解し、研究及び技術開発、そして物質面及び人間の理解を併せ持つことで、個人の専門分野を活かしつつ他分野を理解できた上、社会において活用されるモノやアイデアを他者と協働して創出することで、課題の解決に貢献しイノベーションの基盤を支えることができる専門知識と研究能力を身に付けた学生に「博士（統合科学）」の学位を授与する。

目 次

I	募集人員	1 ページ
II	入学者選抜試験 学生募集要項 入学時期：平成30年4月	1 ページ
III	進学者選考要項 進学時期：平成30年4月	7 ページ
IV	ヘルスシステム統合科学研究科専攻案内	11 ページ

I 募集人員

専攻	募集人員
ヘルスシステム統合科学専攻	16人

注1. 上記は、平成30年度（平成30年4月）の募集人員です。

補足説明がありますので、別添「大学院ヘルスシステム統合科学研究科の募集人員について」を必ずお読みください。

2. 募集人員の中には、進学者選考による募集人員を含みます。

II 入学者選抜試験 学生募集要項

(入学時期：平成30年4月)

1 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者又は平成30年3月までに該当する見込みの者

- (1) 修士の学位若しくは専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したものの

注①岡山大学大学院博士前期課程又は修士課程を平成30年3月に修了見込の方は、「Ⅲ 進学者選考要項」(7ページ記載)により出願してください。

注②出願資格(7)に定める「文部科学大臣の指定した者」とは、次のいずれかに該当する者で、大学等を卒業又は修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事し、著書、学術論文、学術講演、学術報告、特許などにおいて修士論文と同等以上の価値があると認められる研究業績を有するものとします。(出願資格審査申請が必要です。2「出願資格審査」をご覧ください。)

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者

注③出願資格(8)に定める「大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者」とは、出願資格の審査として本研究科で書類審査の後に学力検査(筆記試験、口頭試問)及び面接を行い合格した者とします。(出願資格審査申請が必要です。2「出願資格審査」をご覧ください。)ただし、提出書類等により、個人の能力の確認ができる場合は、筆記試験は免除することがあります。

なお、学力検査等の実施日程、実施方法等については個別に連絡します。

2 出願資格審査

前記1の「出願資格」(7)又は(8)における入学志願者は、出願に先立ち出願資格審査を行いますので、次の書類を以下の期間に、岡山大学自然系研究科等学務課大学院担当へ提出してください。

出願資格審査書類受付期間

平成30年4月入学者選抜試験	平成29年12月11日(月) ～ 平成29年12月13日(水)
----------------	---------------------------------------

出願資格審査提出書類

(1)出願資格認定申請・調書	本研究科所定の様式を使用してください。
(2)業績調書	本研究科所定の様式を使用してください。(専攻分野に関連する研究業績等について、客観的知見等を簡明に記載してください。)なお、学術論文等は、別刷り又はその写しを添付し、研究発表の場合は、その要旨又は概要を添付してください。
(3)研究従事内容証明書	本研究科所定の様式を使用してください。 (所属機関等が作成したもの)
(4)成績証明書(最終学歴)	最終出身学校長が作成したものを提出してください。
(5)卒業証明書(最終学歴)	最終出身学校長が作成したものを提出してください。
(6)資格免許証等	専攻分野に関連する各種免許証等参考になるとと思われる書類の写しを提出してください。 (A4版にコピーして簡単な説明を付してください。)

(1)～(3)の様式は、出願書類の終わりに添付してあります。

出願資格審査の詳細については、1「出願資格」の注②及び注③を参照してください。

3 障がい等のある方の出願について

障がい等のある入学志願者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願に先立ち、次により相談してください。

相談結果の通知及び特別な配慮に基づく必要な措置を講ずるための所要時間を考慮し、少しでも早く相談してください。

相談締切期限	平成30年4月入学者選抜試験	平成29年12月13日(水)
相談方法	「出願に伴う事前相談書」を請求して医師の診断書、障害者手帳の写し(交付されている方のみ)を添えて相談してください。	
請求先 相談先	〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1 岡山大学自然系研究科等学務課 大学院担当 電話 (086) 251-8576	

4 出願手続

(1) 出願方法

入学志願者は、(5)の「出願に必要な書類等」を、(2)の「出願期間」の受付時間(8時30分から17時00分まで)内に提出してください。

(2) 出願期間

平成30年4月入学者選抜試験	平成30年1月29日(月) ～ 平成30年1月31日(水)
----------------	-------------------------------------

郵送する場合は、必ず「書留・郵便速達」とし、封筒の表に「岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科博士後期課程入学願書在中」と朱書して、上記の**出願期間**内に必着するように郵送してください。

入学志願者は、出願前のなるべく早い時期に指導予定教員と連絡をとり、研究内容及び試験内容等について相談してください。

(3) 提出先

〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1
岡山大学自然系研究科等学務課 大学院担当
電話 (086) 251-8576

(4) 出願上の注意

- ① 出願後の出願書類等の記載内容についての変更は認められません。
- ② 出願書類受理後は、いかなる理由があっても返却しません。
- ③ 出願書類に不備があるもの及び入学検定料に不足のあるものは受理しません。
- ④ 出願書類等の記載内容に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学が取り消されることがありますので注意してください。
- ⑤ 改姓(名)前の証明書を使用する場合の提出書類について、入学願書の氏名と異なる旧姓(名)の記載された証明書も使用できますが、その場合は、改姓(名)の日付と新旧姓(名)を入学志願者本人が記入した文書(様式は任意です。)を添付してください。

(5) 出願に必要な書類等

出願に必要な書類等	摘 要
① 入学願書 履歴書 受験票	本研究科所定の用紙に入学志願者本人が必要事項を記入してください。
② 写 真	縦4.0cm×横3.0cm, 上半身, 無帽, 正面向きで出願前3か月以内に撮影した写真2枚を「入学願書」「受験票」の所定欄ののりで貼り付けてください。貼る前に、写真の裏面に志望専攻名と氏名を記入してください。
③ 入学検定料	30,000円(振込手数料が別に必要です) 入学検定料は、添付の「入学検定料振込用紙」により、金融機関(ゆうちょ銀行又は郵便局を含む)窓口(ATMは利用できません)からの振込によって納入し、必ず、「入学検定料振込証明書」を所定欄(受験票下欄)ののりで貼り付けてください。 入学検定料の返還について 次の場合を除き、いかなる理由があっても振込済の入学検定料は返還しません。 ア 入学検定料を振り込んだが出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合 イ 入学検定料を誤って二重に振り込んだ場合

	<p>ウ 国費外国人留学生の入学志願者は原則として入学検定料の納入は不要ですが、平成30年3月31日限りで奨学金支給期間が終了する場合は、入学検定料の納入が必要です。</p> <p>なお、奨学金支給期間の延長が認められた場合には、入学検定料を返還します。</p>
④ 学部の成績証明書	出身大学の学長又は学部長が作成したものを提出してください。
⑤ 大学院の成績証明書	出身大学院の学長又は研究科長が作成したものを提出してください。
⑥ 修了証明書又は修了見込証明書	博士前期課程（修士課程）又は専門職大学院のものを提出してください。
⑦ 学位論文等	<p>次のいずれかを提出してください。</p> <p>ア 修士論文を持つ修士学位取得者は、「修士論文の写し」及び「学位論文要旨（本研究科所定の用紙で2,000字程度）」各1部</p> <p>イ 修士課程修了見込みの者、修士論文を持たない修士学位取得者及び1の「出願資格」(6), (7)又は(8)により出願する者は、「研究経過報告書（本研究科所定の用紙で2,000字程度）」</p> <p>なお、研究発表等の資料があれば添付してください。</p>
⑧ 研究計画書	本研究科所定の用紙を使用してください。
⑨ 履歴書及び研究従事内容証明書	1の「出願資格」(2)又は(3) に該当する者については、学校教育課程年数及び研究歴を確認しますので、本研究科所定の用紙に必要事項を記載して提出してください。
⑩ 博士論文研究基礎力審査に相当する審査に係る確認・報告書	1の「出願資格」(6) により出願する者は、当該審査を行った大学（大学院）の長が作成した「博士論文研究基礎力審査に相当する審査に係る確認・報告書」（様式例参照）及び、その添付資料を提出してください。
⑪ 住民票	日本在住の外国人の入学志願者は、市区町村長の発行する住民票（在留資格・在留期間が記載されたもの）を提出してください。
⑫ 受験票送付用封筒	所定の封筒に、362円分の切手を貼り付けてください。
⑬ 連絡受信先届	必要事項を記入してください。

出願資格審査で、出願資格が有と認定された入学志願者は、④～⑥の証明書の提出は不要です。

(6) 個人情報の利用目的

提出された出願書類等及びこれらに記載されている個人情報は、入学者選抜に係る業務に使用します。

ただし、入学者については入学願書に記載された氏名、性別、生年月日、現住所、出身学校等の個人情報を本学学務システムの学生基本情報への登録データとしても利用します。

また、合格者の受験番号、氏名（漢字・カナ）の個人情報については、本学授業料債権管理事務システム及び授業料免除事務システムの業務にも利用します。

なお、入学料免除の申請、入学料徴収猶予の申請、授業料免除の申請及び独立行政法人日本学生支援機構奨学金等への申請があった場合は、申請者本人の入学試験成績及び学業成績証明書を入学料徴収猶予等の業務に係る学力判定処理に利用することがあります。

5 受験票の交付

受験票は、下記頃に本人あて発送します。なお、試験日の4日前までに到着しない場合には、担当係（6ページ）に連絡してください。

平成30年4月入学者選抜試験	平成30年2月2日（金）頃
----------------	---------------

6 入学者選抜方法等

入学者の選抜は、口頭試問、書類審査の結果を総合して行います。

口頭試問は、修士学位論文等及び研究計画書を中心に行います。

なお、必要に応じて試問のなかで、英語（外国人に対しては日本語）の能力又は教育研究分野に関連した能力に関する試問を行います。

平成30年4月入学者選抜試験

期 日	試験区分	時 間	試問場所
平成30年2月14日（水）	試 問	午前9時30分～	指導予定教員から後日連絡します

- (注) 1. 前記の試問の日時は、入学志願者に連絡の上、変更することがあります。
 2. 試問の日時及び試問場所について2月8日（木）までに連絡のない場合は、担当係（6ページ）へ問い合わせてください。

7 合格者発表

合格者の発表は、次のとおり掲示により行います。

入 学 者 選 抜 試 験	日 時	掲 示 場 所
平成30年4月入学者選抜試験	平成30年3月2日（金） 午前10時	岡山大学自然系研究科等 学務課大学院担当 (工学部1号館1階) 事務室前掲示板

- ① 掲示板に合格者の受験番号を発表し、同日付けで合格者には合格通知書等を本人あてに送付します。
- ② 掲示による合格者発表後、ホームページにも合格者の受験番号を掲載します。
(<http://www.okayama-u.ac.jp/>)
- ③ 電話等による可否の問い合わせには、一切応じません。

8 入学手続

(1) 入学手続方法

合格者は、入学手続を完了することにより、入学が許可されることとなります。詳細は、後日、合格者に別途通知します。

(2) 入学手続期間

入学手続期間については次のとおり予定していますが、詳細は、後日、合格者に通知します。

平成 30 年 4 月入学者 : 平成 30 年 3 月 19 日 (月) ~ 平成 30 年 3 月 20 日 (火)

9 その他

(1) 入学料及び授業料

入学料 282,000円〔予定額〕

授業料(半期分) 267,900円 (年額) 535,800円〔予定額〕

※入学時及び在学中に改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。

その他の費用として、学生教育研究災害傷害保険料等が必要となります。

(2) 昼夜開講制

自然科学研究科では、社会人の受講に便宜を図るため、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例(昼夜開講制)を適用し、昼間だけでなく夜間等(土曜日、夏季・冬季休暇など)においても授業及び研究指導を行っています。

(3) 修学援助

修学援助の一環として、入学料免除・徴収猶予、授業料免除及び奨学金等の制度があります。

(4) 出願に際して不明の点があれば、担当係へ問い合わせてください。

担当係 岡山大学自然系研究科等学務課 大学院担当
〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1
電話(086)251-8576 FAX(086)251-8580
岡山大学URL <http://www.okayama-u.ac.jp/>
問い合わせ先E-mail agf8576@adm.okayama-u.ac.jp

III 進学者選考要項

(進学時期：平成30年4月)

1 出願資格

本学大学院博士前期課程又は修士課程を，平成30年3月で修了する見込みの者

2 出願手続

(1) 出願方法

進学志願者は，(5)の「出願に必要な書類等」を，(2)の「出願期間」の受付時間（8時30分から17時00分まで）内に持参してください。

(検定料は不要ですので，間違っても振り込まないでください。)

なお，進学志願者は，進学後の指導予定教員にあらかじめ連絡してください。

(2) 出願期間

平成30年4月進学者選考試験	平成30年1月29日(月) ～ 平成30年1月31日(水)
----------------	-------------------------------------

進学志願者は，出願前のなるべく早い時期に指導予定教員と連絡をとり，研究内容及び試験内容等について相談してください。

(3) 提出先

〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1

岡山大学自然系研究科等学務課 大学院担当

電話 (086) 251-8576

(4) 出願上の注意

- ① 出願後の出願書類等の記載内容についての変更は認められません。
- ② 出願書類受理後は，いかなる理由があっても返却しません。
- ③ 出願書類等の記載内容に虚偽の記載があった場合は，入学後においても入学が取り消されることがありますので注意してください。

(5) 出願に必要な書類等

出願に必要な書類等	摘 要
① 進学願書 履歴書 受験票	本研究科所定の用紙に進学志願者本人が必要事項を記入してください。
② 写 真	縦4.0cm×横3.0cm，上半身，無帽，正面向きで出願前3か月以内に撮影した写真2枚を「進学願書」「受験票」の所定欄のりで貼り付けてください。貼る前に，写真の裏面に志望専攻名と氏名を記入してください。
③ 成績証明書	博士前期課程（修士課程）のものを提出してください。
④ 研究経過報告書	本研究科所定の用紙に2,000字程度で作成してください。
⑤ 研究計画書	本研究科所定の用紙を使用してください。
⑥ 受験票送付用封筒	本研究科所定の封筒を使用してください。
⑦ 連絡受信先シール	必要事項を記入してください。

(6) 個人情報の利用目的

提出された出願書類等及びこれらに記載されている個人情報は、入学者選抜（進学者選考）に係る業務に使用します。

ただし、進学者については進学願書に記載された氏名、性別、生年月日、現住所、出身学校等の個人情報を本学学務システムの学生基本情報への登録データとしても利用します。

また、合格者の受験番号、氏名（漢字・カナ）の個人情報については、本学授業料債権管理事務システム及び授業料免除事務システムの業務にも利用します。

なお、授業料免除の申請及び独立行政法人日本学生支援機構奨学金等への申請があった場合は、申請者本人の入学試験成績及び学業成績証明書を授業料免除等の業務に係る学力判定処理に利用することがあります。

3 受験票の交付

受験票は、下記項に本人あて発送します。なお、試験日の4日前まで到着しない場合には、担当係（9ページ）に連絡してください。

平成30年4月進学者選考試験	平成30年2月2日（金）頃
----------------	---------------

4 進学者選考方法等

進学者の選考は、口頭試問、書類審査の結果を総合して行います。

口頭試問については、研究経過報告書及び研究計画書を中心に行います。

なお、必要に応じて口頭試問のなかで、英語（外国人に対しては日本語）の能力に関する試問を行うことがあります。

また、書類審査等で能力が十分判定できる場合には、口頭試問を省略する場合があります。

平成30年4月進学者選考試験

期 日	試験区分	時 間	試問場所
平成30年2月14日（水）	口頭試問	午前9時30分～	指導予定教員から後日連絡します

- (注) 1. 前記の口頭試問の日時は、進学志願者に連絡の上、変更することがあります。
2. 口頭試問の日時及び試問場所について2月8日（木）までに連絡のない場合は、担当係（9ページ）へ問い合わせてください。

5 合格者発表

合格者の発表は、次のとおり掲示により行います。

進 学 者 選 考 試 験	日 時	掲 示 場 所
平成30年4月進学者選考試験	平成30年3月2日（金） 午前10時	岡山大学自然系研究科等 学務課大学院担当 （工学部1号館1階） 事務室前掲示板

- ① 掲示板に合格者の受験番号を発表し、同日付けで合格者には合格通知書等を本人あてに送付します。
- ② 掲示による合格者発表後、ホームページにも合格者の受験番号を掲載します。
(<http://www.okayama-u.ac.jp/>)

- ③ 電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

6 進学手続

(1) 進学手続方法

合格者は、所定の進学手続を完了することにより、進学が許可されます。

詳細は、後日、合格者に別途通知します。

(2) 進学手続期間

進学手続期間については次のとおり予定していますが、詳細は、後日、合格者に通知します。

平成 30 年 4 月進学者 : 平成 30 年 3 月 19 日 (月) ~平成 30 年 3 月 20 日 (火)

7 その他

(1) 入学料及び授業料

入学料は不要です。

授業料(半期分) 267,900円 (年額) 535,800円〔予定額〕

※進学時及び在学中に改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。
その他の費用として、学生教育研究災害傷害保険料等が必要となります。

(2) 修学援助

修学援助の一環として、授業料免除及び奨学金等の制度があります。

(3) 出願に際して不明の点があれば、担当係へ問い合わせてください。

担当係 岡山大学自然系研究科等学務課 大学院担当
〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1
電話 (086) 251-8576
FAX (086) 251-8580
岡山大学URL <http://www.okayama-u.ac.jp/>
問い合わせ先E-mail agf8576@adm.okayama-u.ac.jp

IV ヘルスシステム統合科学研究科専攻案内

講 座	教育研究分野	ページ
ヘルスシステム統合科学講座	生体機能分子設計学	1 2
	1 分子生物化学	1 2
	細胞機能設計学	1 2
	無機バイオ材料工学	1 2
	生体分子工学	1 2
	蛋白質医用工学	1 2
	ナノバイオシステム分子設計学	1 2
	オルガネラシステム工学	1 2
	人間情報処理学	1 2
	医用情報ネットワーク学	1 2
	先端医用電子工学	1 2
	インタフェースシステム学	1 2
	認知神経科学	1 2
	臨床応用看護学	1 2
	生体情報科学	1 2
	放射線健康支援科学	1 2
	基礎看護学	1 2
	生体機能再生再建医学	1 2
	医療技術臨床応用学	1 2
	人間文化論	1 3
	日本文化論	1 3
	キリスト教文化論	1 3
	医事法学	1 3
	科学史技術論	1 3
	臨床死生学	1 3
	ソーシャル・イノベーション論	1 3
	医療人類学	1 3

参考に、岡山大学のホームページ「岡山大学 研究者総覧」をご覧ください。

岡山大学研究者総覧URL <http://soran.cc.okayama-u.ac.jp/>

注① 志望指導教員へ連絡される場合は、ホームページ「岡山大学 研究者総覧」にて名前検索の上、基本情報記載の研究室電話番号または以下の代表電話へお掛けください。

<岡山市津島キャンパス> 代表電話 086-252-1111

注② 次ページ以降に掲載のある教員は、授業のみ担当し研究指導を行わない場合もありますので、あらかじめ志望指導教員に連絡し、確認してください。

注③ 本専攻案内は、募集要項作成時点での予定のため、変更になることがあります。

ヘルスシステム統合科学講座

教育研究分野	内 容	担当教員
生体機能分子設計学	核酸結合タンパク質や酵素を始めとした、生体機能制御分子の機能解析及び得られた知見に基づいて設計した人工生体機能分子の医療・農業への応用を目指した異分野融合研究	世良 貴史 教授
		飛松 孝正 准教授
		△森 光一 助教
1分子生物化学	タンパク質の機能解析及びその分子機構の解明，医療・環境科学への応用	井出 徹 教授
		△早川 徹 助教
細胞機能設計学	細胞内シグナル伝達研究と創薬科学および免疫系細胞の機能解析と疾患治療への応用	徳光 浩 教授
		金山 直樹 准教授
		△曲 正樹 助教
無機バイオ材料工学	無機材質を基本とした構造が精密に制御された医用材料の設計と応用に関する研究	早川 聡 教授
		吉岡 朋彦 准教授
生体分子工学	新規生体機能分子の設計に立脚し，主としてRNAの働きに着眼した生命工学・生命科学研究	大槻 高史 教授
蛋白質医用工学	蛋白質の効率的な生産・解析法の開発と医用工学分野への応用に関する研究	二見 淳一郎 准教授
ナノバイオシステム分子設計学	細胞機能を利用した病態モデルの構築と治療方法の開発に関する研究	妹尾 昌治 教授
		村上 宏 准教授
オルガネラシステム工学	細胞内オルガネラ形成や物質輸送制御の機序解明とその応用に関する研究	佐藤 あやの 准教授
人間情報処理学	信号処理，確率統計理論，機械学習等に基づいて人間の視聴覚情報処理や行動を分析，モデル化すると共に，それらをサービスに応用する研究	阿部 匡伸 教授
		相田 敏明 講師
医用情報ネットワーク学	コンピュータネットワークや通信プロトコルの性能解析・評価法及び高信頼化・高機能化法とそれらの医用への応用	横平 徳美 教授
先端医用電子工学	バイオ・メディカル分野で重要なセンサデバイスを用いた各種計測技術，システム化及び信号処理設計に関する研究	塚田 啓二 教授
		紀和 利彦 准教授
インタフェースシステム学	人間と協調したり人間の活動を支援するヒューマン・マシン・インタフェース技術及びロボット技術とそれらの医療・介護システムへの応用に関する教育研究	五福 明夫 教授
		亀川 哲志 講師
認知神経科学	認知心理学とニューロンイメージング手法を用いたヒトの認知神経機能の解明及び医療福祉への応用に関する教育研究	呉 景龍 教授
		高橋 智 准教授
臨床応用看護学	末期癌患者におけるコミュニケーションの様態と行動変容の関連についての研究	松岡 順治 教授
生体情報科学	生体情報を正しく計測・処理する技術およびその解析・評価法，さらに得られた情報，データベース等に基づいた社会での活用に関する教育研究	岡 久雄 教授
放射線健康支援科学	医療分野における放射線の物理計測・評価技術の開発応用や生体への治療効果・副作用など予測シミュレーションに関する研究	笈田 将皇 准教授
基礎看護学	基礎看護教育における医療事故防止のための支援介入・看護技術に関する教育研究，および在宅介護者のソーシャルサポートに関する研究	兵藤 好美 教授
生体機能再生再建医学	医工連携による機器開発と評価，視覚に係る臨床研究，社会や医療における視覚の役割に関する研究	松尾 俊彦 准教授
医療技術臨床応用学	ナノテクノロジーを用いた医薬品などを，実際の疾患治療に活用する際の，疾患知見を踏まえ血管や繊維組織を中心とした生物学的な反応解析研究，または，医療データによる疫学的な解析研究	狩野 光伸 教授

人間文化論	人口減少・超高齢化社会における生き方を支える価値観創出のための基盤となる西洋哲学思想・宗教文化の研究	出村 和彦 教授
日本文化論	医療・ケアの現場に根ざした東アジア・日本の老年観・死生観を中心とした研究	本村 昌文 教授
キリスト教文化論	東西キリスト教の伝統における人間観（とくに、命のはじまりや老いと死に関する問題）についての思想史的・宗教学的的研究	△袴田 玲 助教
医事法学	医療現場に生起する法的諸課題を医療行為と医療制度の両面から把握・分析したうえで、解決策を提示し得る人材の養成を志向する教育研究	山下 登 教授
科学史技術論	ケアにかかわる科学技術の発展と高齢化諸問題との関連やあり方に関する研究	※吉葉 恭行 教授
臨床死生学	医療・ケア現場における死生に関する課題と、問題解決のための理論・具体的方法のあり方の臨床死生学的な研究	※日笠 晴香 講師
ソーシャル・イノベーション論	医療・ケア現場における多様な課題に対する技術革新および社会イノベーションの開発・適用に関する教育研究	藤井 大児 教授
		※青尾 謙 講師
医療人類学	ベトナムの枯葉剤問題に関する文化人類学の視点からの研究	△上杉 健志 准教授

注1) △印の教員は、指導教員として志望できません。

注2) ※印の教員を指導教員として志望する入学志願者は、出願前に担当係（p. 6）」に連絡してください。